

Members Introduction [法人会員ご紹介]



株式会社 大賀薬局 様

※今回写真紹介できなかった新規企業様に関しては、次号掲載いたします。

2016年11月より「株式会社 大賀薬局」様、「株式会社 高崎組」様に法人会員としてご加入いただきました。今後も、支えてくださる皆様への感謝の気持ちを胸に仕事も競技も良い結果をだし、元気・勇気・感動を伝えるため、努力して参ります。応援どうぞよろしくお願いいたします。

Member company [会員企業様]

■特別会員企業

麻生セメント株式会社
総合メディカル株式会社
フコクしんらい生命保険株式会社
マスマシューアル生命保険株式会社

株式会社麻生
麻生教育サービス株式会社
麻生健康保険組合
学校法人麻生塾 麻生専門学校グループ
麻生商事株式会社
株式会社アトル
株式会社アックス
株式会社エヌエスエス
株式会社エヌ・エスエス
エフコープ生活協同組合
株式会社エフ・ジェイホテルズ
株式会社エムアイユー
株式会社エルゼ
大分朝日放送株式会社
学校法人大村文化学園
株式会社カステラ本家福砂屋
株式会社学研プラス
株式会社キシャ

九州電力株式会社
九州東邦株式会社
株式会社キューデンインフォコム
株式会社九電工
株式会社久原本家 グループ本社
株式会社クリオ
株式会社健康家族
学校法人産道学園専門学校コンピュータ教育学院
西部ガス株式会社
株式会社サカヒラ
株式会社サンマーク
三和ホールディングス株式会社
株式会社翔業
新日本製薬株式会社
正晃株式会社
株式会社ゾーン
タイシ株式会社
高杉製薬株式会社

株式会社タケノ
株式会社地工
株式会社デッサン
中村工業株式会社
中村産業株式会社
株式会社長崎国際テレビ
西日本鉄道株式会社
日本電算システム株式会社
株式会社ハウスクリック
学校法人博多学園
株式会社博報堂 九州支社
株式会社BCC
株式会社ビーバンドットコム
株式会社ヒューマンテクノシステムホールディングス
株式会社ファミリー
フォーシース株式会社
株式会社福岡銀行
株式会社福岡放送

株式会社フランソア
株式会社マイマイ
株式会社増屋
株式会社ミドリ印刷
医療法人博愛会
一般社団法人 宗像医師会学校医会
山下医科器械株式会社
株式会社ヤマノ
株式会社リロクラブ
株式会社リロケーション・インターナショナル
株式会社アソウ・アルファ
株式会社ユニバースクリエイト
株式会社福利厚生倶楽部九州
株式会社アソウ・アカウントサービス
株式会社アソウ・システムソリューション (50音順)

■法人会員企業

医療法人あいた医院
旭精工株式会社
株式会社アステム

C's Athlete member [シーズアスリートメンバー]

主たるメンバーはパラリンピックのメダリストたちです。



RIKIYA KUDO

工藤 力也 C's Athlete リーダー

ゴールボール選手
1981年 福岡県生まれ
19才でレーベル病になり視力低下 (株)アソウ・ヒューマニティーセンター社員



ロンドンパラ 金メダリスト
MISAE KOMIYA

小宮 正江

ゴールボール選手
1975年 福岡県生まれ
小学生のとき「網膜色素変性症」を発症 (株)アソウ・ヒューマニティーセンター社員



ロンドンパラ 金メダリスト
MIE URATA

浦田 理恵

ゴールボール選手
1977年 熊本県生まれ
20才で「網膜色素変性症」を発症 総合メディカル(株)社員



SHOTA KAWANO

川野 将太

車いすテニス選手
1985年 福岡県生まれ
17歳の時、交通事故で脊髄を損傷し胸から下と手が麻痺し車いす生活に 麻生セメント(株)社員



YQSHU NOBUSAWA

信沢 用秀

ゴールボール選手
1986年 東京都生まれ
先天性網膜芽細胞腫で生まれ、現在の視力は右は0.01、左は0 フコクしんらい生命保険(株)社員



KEIKO KONISHI

小西 恵子

車いす陸上選手
1978年 広島県生まれ
6歳の時、自宅で遊んでいて脊髄を損傷し車いすの生活になる (株)アソウ・ヒューマニティーセンター社員



KEISUKE SHIROMA

城間 圭亮

車いす陸上選手
1996年 沖縄県生まれ
生まれつきの二分脊椎症により両足に麻痺があり車いすの生活になる マスマシューアル生命保険(株)社員



特別サポート選手
MASAZUMI SOEJIMA

副島 正純

車いす陸上選手
1970年 長崎県生まれ
23才のとき家業の事故で脊髄を損傷し下半身不随となり車いす生活となる (一社)ウエルフェア アスリートクラブ ソシオSOEJIMA 所属



【お問合せ先】障がい者スポーツ選手雇用センター「C's Athlete」事務局
福岡市中央区天神2-8-41 福岡朝日会館14階
(株)アソウ・ヒューマニティーセンター内 担当:工藤/竹内

TEL:092-711-1800 FAX:092-752-0525

シーズアスリート
http://athlete.ahc-net.co.jp/

検索

挑戦者たちの軌跡、フィールドの記憶

障がい者スポーツ選手雇用センター シーズアスリートニュース

RECORD

2017.1 VOL.45



RESTART 2017

特集 シーズアスリート新春座談会 新たな挑戦と覚悟

【競技報告】

- 小西・城間・副島(車いす陸上)
□10/30 第36回大分国際車いすマラソン大会(大分県/大分市)
- 川野(車いすテニス)
□10/20~23 2016 Peace Cup 第27回国際交流車いすテニス大会(広島県/広島市)
□11/18~20 第26回 三井不動産 全日本選抜車いすテニスマスターズ(千葉県/柏市)
- 小宮・浦田・工藤・信沢・草野(ゴールボール)
□11/26~27 2016日本ゴールボール選手権大会(東京都/青梅市)

【講演報告】

- 10/14「思いやりの心と伝えあう力の育成」
士幌町立新田小学校/
士幌町立西上音更小学校(北海道/河東郡)

活動予定

- 3/12 名古屋ウィメンズマラソン(愛知県/名古屋市)【小西】
- 3/20~23 The 9th Fazaaz IPC Athletics Championships / 2016 IPC Grand Prix (アラブ首長国連邦/ドバイ)【小西】
- 3/22~26 Cajun Classic (アメリカ/バトラーズ)【川野】

シーズアスリート新春座談会 新たな挑戦と覚悟

パラリンピックイヤーを経て、それぞれの想いを胸に、シーズアスリートの8選手が再び動き始めようとしている。自らを見つめ直し、勢ぞろいした仲間にエールを送りながら、新たな挑戦について和やかに、ときに真剣に語り合った。 林 敬起=文

2016年を振り返って

一皆さんにとって2016年はどんな1年でしたか。総括をお願いします。

川野 シーズアスリートの仲間と共にリオパラリンピックに挑んだ1年でした。出場選手は結果を残すために頑張り、出場できなかった選手は出場選手のサポートをするというように、全員で一丸となってチームワークを発揮できたと思います。個人的にはメダルを逃して気持ちが落ち込みましたが、会員様をはじめ多くの方々から次につながる叱咤激励の言葉をいただき、絆の大きさをあらためて実感しました。

小宮 選手としてリオの舞台に立たせていただき、会員様をはじめ支えてくださった方々に心から感謝しています。仕事も競技も、次の一步を踏み出して自分自身を高めていく作業は、苦しさも伴いますが自分の新たな可能性を知る楽しさを見出すことができました。そして、ゴールボールが好きだということあらためて感じた1年でした。

副島 パラリンピック出場に向けて一番苦しく、

辛抱を重ねた1年でした。年を追うごとに後輩の成長をプレッシャーに感じるようになり、自分はどうすべきなのかと悩む機会が増えました。特に昨年は土壇場までリオの出場権を取れなかったこともあって、勝つために努力したというより、不安やプレッシャーに負けないようにという守りの気持ちが強くなってしまった。そして本番でも、すべてを出し切ったという晴れ晴れしい気持ちになれなかった。いろいろと悔いが残る年でしたね。

浦田 世界の頂点に挑むチャンスを再びいただいて、大きく成長することができた幸せな1年でした。連覇は果たせませんでした、ミスも含めて自分の力や練習の成果を出し切ったという思いはあります。とはいえ、やはりすごく悔しい。職場でもそうですが、自分が組織にどう働きかければいいのか、私らしさを発揮できているのかといったことを考えさせられ、チームが本当にひとつになることの難しさを感じた年でもありました。

信沢 個人のスキルアップを図るつもりが個人プレーに走ってしまい、自分がやっているゴール

ボールと目指すべきゴールボールにギャップが出てしまい、自分のプレーもチームプレーも見失うことが多い1年でした。チームでの自分の立ち位置や役割をあらためて見極め、必要なスキルを磨いていきたいです。

小西 リオパラリンピックへの道のりは厳しく、選手として大きく飛躍しなければ、リオの舞台には届かないことを理解したうえで、リオを目指しました。結果的に実力が及びませんでした、若い選手にまだ負けたくない、もっと速く走りたいという思いがあります。一方で、城間君を含めて後輩に対してできることがあれば取り組んでいきたいという気持ちも芽生えた1年でした。

城間 シーズアスリートの一員として社会人となり、人生が大きく変化した1年でした。目標は仕事と競技の両立だったのですが、仕事からトレーニングへの切り替えがうまくできなかった、これから上手にバランスをとっていきたいです。また試合で緊張しやすいので、メンタル面を鍛えて思いどおりの走りができるようになりたいとも強く思いました。



会員様をはじめ多くの方々から次につながる叱咤激励の言葉をいただき絆の大きさをあらためて実感しました。(川野)

工藤 選手としての活動より、小宮さんと浦田さんが世界一になるためのサポートを優先しました。連覇はできませんでしたが、一緒に取り組んできた成果をコートで発揮してくれたという達成感がありました。自分にとってのリオが終わり、これから自分が進むべき道について自問を続けた1年でした。

一リーダーとしてはどうでしたか。

工藤 会員様が期待していた結果をリオで残すことができなかった、新たに加入した城間君には社会人として、競技者としてシーズアスリートの良さを結果で証明してもらいたいですし、自分たちもこれまで以上に結果にこだわらないといけないと思いました。

先輩から、期待の新星へ

一緊張しやすいという城間選手へのアドバイスをお願いします。

工藤 不安や後悔が緊張の原因なので、試合までやれるだけのことをしっかりと積み重ねてその場に立ち、いかに腹をくくれるかだと思います。メンタルに関する本を読むのも参考になりますよ。

浦田 私は、戦う相手は同じ人間なので、緊張してもムダだ! (笑) と思っていますよ。試合前にみんなで声に出して言ったこともあります。

小宮 試合前は良いイメージを持つように心がけています。城間君は緊張すると言いますが、逆に強いほうではないかと (笑)。

小西 絶対に緊張を力にできるタイプですよ。一緒に出場した大会でも私が近くで、それも大声で応援していたのですが、目つきがガラッと変わっていて見向きもせず、ゴール後もさっと通り過ぎていきました (笑)。それだけ集中できているということだと思います。

工藤 研修のときに人前で“ちょっと歌って”と言ったら、5曲くらい歌いましたね (笑)。

一同 (笑)

副島 私はスタート3分前くらいが最も緊張しますが、何も考えないようにして、親しい選手に“頑張ろう”と話しかけることもあります。あとは開き直るだけです。ちなみに一番緊張するのはいつ?

城間 スタート前です。

工藤 力也
(ゴールボール/C's Athleteリーダー)

小宮 正江
(ゴールボール)

浦田 理恵
(ゴールボール)

川野 将太
(車いすテニス)

信沢 用秀
(ゴールボール)

小西 恵子
(車いす陸上)

城間 圭亮
(車いす陸上)

副島 正純
(車いす陸上)





副島 前の日は普通に寝られる？

城間 はい、寝られます。でも試合前は緊張しています。

一同 (笑)

副島 前の晩に寝られるくらいなら、大丈夫、問題なし！(笑)

一(笑) もうひとつ、仕事と競技の両立についてもアドバイスを。

信沢 多分、この中で私が一番、両立が下手なんです(苦笑)。大会が近づくと仕事に競技のことが気になり、競技中は仕事に気がなってしまうので、一方のことは忘れようと言いつけています。

小宮 工藤さんや川野さんは、大会に出るために仕事の計画を立て、終わらせなければいけないことを明確化して実行している。だからこそ、競技に集中できていますよね。私も見習わなければ(苦笑)。

川野 シーズアスリートで競技を続けようと決断したときに、組織の理念に沿った考え方、動き方に切り替えたことで、スムーズに両立できたように思います。とにかくひとりで悩まず、仲間に相談することじゃないかな。チームとしてお互いを支え合う意識があれば、みんながうまく両立できるはずですよ。

工藤 両立とは時間的なことではないと思うんですよ。仕事が終わっても定刻まで職場にいる、在宅勤務であれば家にいるのはナンセンス。仕事が終われば早く退社し、終わらなければ続ける。つまり責任がフィフティフィフティであって、状況によって時間的なバランスが変わる、と考えれば両立しやすくなるかもしれません。

一城間選手、いかがですか。

城間 まだ学ぶことも覚えることも多くて要

領をつかめていないし、自覚や責任感も足りていなかったのかなと反省しています。メンタル面も含めて、これからいろいろと相談させていただきます！

2017年、再スタートのとき

一それでは、今年の抱負と意気込みをお聞かせください。

浦田 抱負は「基本に立ち返る」です。パラリンピックという節目の年を終えて、今まで積み上げてきたものをゼロにするという意味ではありません。今までやってきたからそのままいいということではなく、体づくりやチームづくり、そして仕事においても、いま取り組んでいることは何のためにするのか、本当に必要なのか、といったことをフラットな状態でもう一度しっかりと考えるようにしていきます。

信沢 「あつく高く、そして強く」です。

だれかのために頑張りたい、必死になって勝ちたいという気持ちをチームメートと共有し、感情が表に出るような

熱いプレーをしたい。その中でお互いに成長しながら強いチームをつくっていききたい。そうしたいを目標にしました。そのためにも、先ほども言ったように自分の立場や役割をあらためて見つめ直していきたいです。

小宮 抱負は「万能一心」(※何をすることも心を集中しなければならないこと。どんなことをこなしても真心が欠けていけば何の役に立たないこと)です。リオを終えて、心技体の心が特に足りていないと感じました。仕事や競技の一つひとつに真心をもって取り組み、人に対しても同様に接することで自分をもっと高めていきたいと思い、この言葉を選びました。代表チームがより強くなるために自分が何に貢献できるのかをしっかりと考え、整理した上で次のステージに挑戦していきます。



川野 「動く！そして変わる！」です。自ら動いて新たなことに挑戦し、何かを変えていかなければ現在の地位を守れないし、進化や成長もありません。たとえば、テニス以外の競技の練習を取り入れてみるなど、これまでと違う視点を持ち、異なる分野から刺激や気づきを得たいと思っています。仕事もプライベートも同じで、自分にできることをもっと考えて行動することでより大きな楽しみを見出し、明日に期待を持てる日々を過ごしていきたいです。

工藤 抱負は「緊張(きんこん)一番」(※気を引き締め、十分な覚悟をもって事に当たること)です。チームの勝利を最優先し、2020東京でメダルを狙える実力をつけていくためには、自分がコーチと選手のどちらの立場にいることがより貢献できるのかをしっかりと考え、結論を出します。どちらにしても、覚悟して選択しなければ悔いが残ると思って目標にしました。

一シーズアスリートとしては。

工藤 2020東京だけでなく、その先も見据えて若手選手を発掘し、1年に1人の加入に繋げていきたいです。会員様にこれからも長く応援してもらえる組織にしようという気持ちを、全員がこれまで以上に持つ必要があると思っています。

一どんな選手が理想ですか。

工藤 将来性なども大事ですが、応援したいと思ってもらえる魅力を持つ人がいいですね。人柄なのか、副島さんのようなカリスマ性なのか、魅

2020年東京だけではなく、その先も見据えて。会員様に長く応援してもらえる組織に。

(工藤)

力は人それぞれですが。

副島 そんなものないよ(笑)。

工藤 車いすに乗ってれば普通の人、でもレーサー(※競技用車いす)に乗るとカリスマ性を発揮するという(笑)。

一同 (笑)

副島 ひどいなあ。まあ、否定はできませんけど(笑)。

一そんな副島選手を前に緊張気味の小西選手、お願いします。

小西 副島先輩の前で話すのはちょっと震えますが(笑)、「継続こそ変化の近道」です。すごく大きなことに取り組むより、基礎的な練習を地道に、納得できるまで努力し続ける方が大きな変化につながると思って目標にしました。もっと速くなりたいし、まだ速くなれるのではないかと根拠のない思いもあって、あきらめきれないという気持ちです。

副島 私も根拠のない自信だけでやってきたから(笑)。自分の自信やプライド、ポリシーを持つ同士が戦う世界で正しい答えなんてありません。だからこそ、いろいろな選手のさまざまな部分を見たり聞いたり、取り入れたりして自分

に適したものを選んでいけば、根拠のない自信が花開くこともあるでしょう。ネガティブに考えるより、よほどいいと思いますよ。

一川野選手の抱負にも通じますね。

川野 根拠はなくてもいいと思えば試してみればいいし、だめだったらもうやら

なければいい。でも、必ず発見はあるはずですからね。

小西 ありがとうございます。先輩方の言葉をヒントに、自分に合う方法を見つけていきます。

一城間選手の抱負は小西選手と似ていますが、まさかカンニング…

城間 してないです！(笑)。抱負は「努力の積み重ねが夢を叶える近道」です。皆さんのようなトップ選手になって2020東京では、会員様に結果で恩返しをしたい気持ちが強まりました。しかし、思いどおりの走りができず、結果に繋がらないことも少なくありません。継続して努力を積み重ねることが力を発揮するために必要だと思っています。

副島 私の抱負は「向上」です。これから先、自身自身の努力とキャリアだけで実力を伸ばすことはかなり難しく、伸びるにしても限界があります。だから川野君と同じように、伸び盛りの若手の考えや取り組みを参考にしながらケガをしない体づくりに励み、2020東京に挑戦します。とても厳しい4年間になることは覚悟していますが、私は選手でありたいし、多くの人に応援してもらえる選手を送り出していきたいと思っています。

一最後に、リーダーとしてメンバーへメッセージをお願いします。

工藤 新たな目標に向けて最善を尽くし、結果を追求してください。会員様からもっと応援していただける選手であるため、そして自分が“実はもっとやれたかも”と後悔しないためにも恵まれた環境を当たり前と思わず、取り組んでいることを常に振り返りながら、その日できることに最大限の気持ちで取り組んでいきましょう！

一同 はい！

林 敬起 はやし たかき 文

フリーライター。1969年福岡県出身。2000年「月刊ホークス」誌の創刊に参画。以後、福岡ダイエーホークスおよび福岡ソフトバンクホークスファンクラブ会報誌、オフィシャルイヤーズブック、「スポーツ報知」紙などで記事を執筆。



Event Report

【イベントレポート】

車いすテニス体験イベント in 鹿児島

□ 2016/11/13 ハートピアかごしま

この日生まれていくつもの輪が 広がっていくことを願っています

- 【第1部】 リオ出場選手と日本代表監督によるトークショー
- 【第2部】 選手と一緒に車いすテニス体験会

障害のある子どもたちとご家族・地域の方を対象に、シーズアスリートにて初めて主催した体験イベント。

体験や交流を通じて、障がい者スポーツの魅力や多様な可能性を感じていただくきっかけづくりになればと実施したイベントには県内外から多くの方にご参加いただきました。

第1部は、約100名を収容する会場がほぼ満席となる中、リオ出場選手たちが障害を負った経緯や、絶望的な状況をいかに乗り越え夢をかなえたか、などを真剣に語り合いました。一方で、リオの選手村やその食事、一緒に登壇した選手の裏話なども披露し、質疑応答もあって大いに盛り上がりしました。

第2部は、小中高のお子さんを中心に約20名が参加。中には熊本や宮崎からきてくださった方もいました。障害の度合いに応じ、車いすテニス未経験者でも楽しめるプログラムを事前に考えたことで全員が無理なく笑顔で参加することができました。選手vs参加者の試合では、子ども同士が作戦会議を行うなど親睦を深めあう姿も印象的で、このイベントを開催して本当に良かったと思いました。

終了後、子どもたちから「障害があるからできないと思っていたのにプレーできてうれしかった」「ぜひまた参加したい」「次回は同じ施設の人も誘いたい」といったうれしい声を聞くことができました。私もテニスを始めたころの楽しさを思い出すとともに、「自分が子ども時代に日本代表選手と接する機会があれば、すごうれしかったはず」と考え、こうしたイベントをまた実施したい、これからも続けていきたいという気持ちが強まりました。

協賛を快諾していただいた株式会社健康家族様、後援いただいた県や市、教育委員会の皆さま、そしてボランティアとして協力いただいた皆さまへ改めて感謝いたします。そして、この日生まれていくつもの輪が今後どんどん広がっていくことを心から願っています。(川野将太)



Match 【競技報告】 ※今号はページの都合上、一部は結果のみをお伝えいたします。

車いす陸上

□10/30 第36回大分国際車いすマラソン大会(大分県/大分市)

[フルマラソンT34/53/54クラス 男子] 5位 副島 正純(記録 1:29:24)
[ハーフマラソンT34/53/54クラス 女子] 5位 小西 恵子(記録 1:03:42)
[ハーフマラソンT34/53/54クラス 男子] 棄権 城間 圭亮

車いすテニス

□10/20~23 2016 Peace Cup 第27回国際交流車いすテニス大会(広島県/広島市)

[シングルス] 優勝 川野 将太
[ダブルス] 優勝 川野 将太/當間 寛

□11/18~20 第26回 三井不動産 全日本選抜車いすテニスマスターズ(千葉県/柏市)

[シングルス] 優勝 川野 将太 ※シングルスのみ大会

ゴールボール

□11/26~27 2016日本ゴールボール選手権大会(東京都/青梅市)

[男子] 優勝 チーム付属A(信沢 用秀 所属)
準優勝 Amaryliss(工藤 力也/草野 剛 所属)
[女子] 優勝 TEAM FUZOKU
準優勝 鳥リハLadiesチーム むさしずく
棄権 九州なでしこ(浦田 理恵/小宮 正江 所属)

Report □10/30 第36回大分国際車いすマラソン大会



10月30日(日)第36回大分国際車いすマラソン大会が開催されました。国際パラリンピック委員会の公認大会として世界最多の車いすアスリートが参加する世界最高峰の大会は、36回目となる今年、大会史上初のテレビ完全生中継も行われました。

シーズアスリートからは、フルマラソンに副島選手、ハーフマラソンに小西選手、城間選手がエントリーしました。結果は、副島選手がフルマラソン5位、小西選手がハーフマラソン5位、城間選手は残念ながら体調不良により棄権となりました。

早朝より福岡から応援に来ていただいた法人会員企業の皆様、後援、協賛企業として大会を支えていただいた法人会員企業の皆様、沢山の差入れを届けて下さった法人会員企業の皆様に心より感謝申し上げます。

Lecture 【講演会】

□10/14「思いやりの心と伝えあう力の育成」

士幌町立新田小学校/士幌町立西上音更小学校(北海道/河東郡)

生徒たちの一生懸命さと仲の良さに感動

今回は、「相手を思いやること」、「互いに思いを伝え合うこと」、「声を掛け合うこと」の大切さをテーマに体験会と講話をさせていただきました。視覚を遮断された状態で歩行する体験では、誘導する側は、一生懸命声掛けを行って来ていました。皆さん、とても仲が良く、互いに思いやる心が素晴らしかったです。私が見習わなくては教えられないところがたくさんありました。訪れる機会の少ない北の地で出会えた素敵な縁に感謝するとともに、私自身もっと表現力や思いの伝え方を勉強し、今度はパラリンピアンとしてメダルを持って皆様に再会できるように頑張ります!(信沢)



講演実績 (一部抜粋)

- 2016/10/8 熊本市立電南中学校【浦田】
- 2016/10/21 内外電機株式会社【小西】
- 2016/10/28 大牟田市立西木中学校【川野】
- 2016/11/29 福岡市立西陵中学校【小宮】
- 2016/12/2 モリ工業株式会社【浦田】
- 2016/12/13 田主丸特別支援学校【工藤・浦田】
- 2016/12/15 鳥取県立鳥取盲学校【工藤】

講演会・競技体験会 お気軽にお問合せ下さい

シーズアスリートでは世界の頂点を目指す選手による、企業・学校・自治体など多方面に向けた講演会・競技体験会を実施いたします。障害という挫折を味わい葛藤し、スポーツと出会い目標をもつことで今を精一杯生きるアスリート。彼らの講演を通じ全ての方に「元気・勇気・感動」をお伝えします。学校での人権学習や企業でのモチベーションアップ講座など、お気軽にお問い合わせください。



11/20 福岡ゴールボール大会 盛会!

優勝は「九州なでしこ」チーム。応援ありがとうございました!



2001年からスタートした大会も今年で16回目。今年も法人会員企業様、個人会員の皆様からもエントリーいただきました。サポートや応援の方々を含め約100名の参加となり、体育館は元気な歓声で盛り上がりしました。ご参加いただいた皆様、元気な子供たち、サポートや応援に来ていただいた皆様、本当にありがとうございました。これからも、ここ福岡からゴールボールの輪を広げていきたいです。